

菅総理大臣の新型コロナ対策の検討表明を受けて

本日、菅総理大臣は年頭の記者会見において、1都3県における緊急事態宣言発令の検討に入ることなどについて表明された。政府におかれては、一昨日の1都3県の知事からの要請を最大限に踏まえていただいたことを、評価したい。

わが国の感染拡大状況は年明けを迎えても歯止めがかからず、医療のひっ迫も日々深刻化しており、何としても感染抑制と医療体制の確保を緊急に図らなければならない。政府におかれては、これ以上の感染拡大を食い止めるべく、最前線で感染防止にあたる都道府県への十分な支援や、全国知事会からの提言を十分踏まえた特別措置法改正実現を含め、実効性ある抜本的対策を機動的に断行されるよう強くお願いする。併せて、Go To キャンペーン事業については、感染状況などの地域の実情を踏まえ、適切に運用していただくとともに、ワクチン接種を来月下旬から始められるよう最大限の努力をしていただくようお願いする。

全国知事会としても、政府と一体となって、ワクチン接種の体制整備への協力も含め、国民の皆様や医療関係者の方々とともに、もう一度安心と希望をもって暮らしていける日々を取り戻すため、全力を挙げて参る決意だ。

令和3年1月4日

全国知事会 会長 徳島県知事 飯泉 嘉門

全国知事会新型コロナウイルス緊急対策本部
本部長代行 鳥取県知事 平井 伸治